

2021年3月期 第3四半期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	29億85百万円	(前年同期比△15億61百万円)
	四半期純利益	21億99百万円	( " △7億95百万円)
【連結】	経常利益	29億67百万円	( " △16億64百万円)
	親会社株主に帰属する四半期純利益	20億70百万円	( " △8億64百万円)

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、1月29日（金）、2021年3月期（2020年度）第3四半期の決算を発表いたしました。

### 1 損益（単体）

**経常収益**は、資金運用収益の減少により前年同期比6億11百万円減収の274億2百万円となりました。（増加率△2.1%）

本業での利益を示す**コア業務純益**は、資金利益や役員取引等利益は減少したものの、経費が減少したことにより2億14百万円増益の40億91百万円となりました。（増加率5.5%）

一方、**経常利益**は、国債等債券損益や株式等関係損益が悪化したことにより、15億61百万円減益の29億85百万円となりました。（増加率△34.3%）

**四半期純利益**は7億95百万円減益の21億99百万円となりました。（増加率△26.5%）

### 2 損益（連結）

**経常収益**は、前年同期比5億70百万円減収の311億2百万円となりました。（増加率△1.7%）

**経常利益**は、16億64百万円減益の29億67百万円となりました。（増加率△35.9%）

**親会社株主に帰属する四半期純利益**は8億64百万円減益の20億70百万円となりました。（増加率△29.4%）

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

### 3 預金および貸出金残高（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人、法人および公金預金の増加により前年同月末比2,440億円増加し2兆9,767億円となりました。（増加率は8.9%、過去最高残高となりました。）

貸出金は、個人ローン、事業先向け貸出および国・地公体向け貸出の増加により前年同月末比1,684億円増加し1兆8,254億円となりました。（増加率は10.1%、過去最高残高となりました。）

貸出金のうち、中小企業等貸出は、前年同月末比712億円増加し1兆133億円となりました。（増加率は7.5%、初めて1兆円を超えました。）

詳細につきましては決算短信をご参照ください。